



社会経済福祉委員会 講演会

社会経済福祉委員会は、働き続けられる職場環境づくり推進のための活動として、講演会を行っています。今年度は、9月13日、ホテルさっぽろ芸文館において、東京メンタルヘルス チーフカウンセラー村上章子先生を講師にお招きし、「看護職のためのメンタルヘルスケア - 心が元気になるストレスマネジメント -」をテーマに講演を開催しました。自分のストレス度や自己の傾向についてセルフチェックを実施し、セルフケアを行うための具体的方法について教えていただきました。さらに、コミュニケーションの一つとして、アサーションについても教えていただき、ストレスの軽減や人間関係作りにも大きく影響していくことを学び、今までのコミュニケーション方法を振り返る場となりました。講演の中で、参加者同士で話し合う時間もあり、和やかな雰囲気の中、情報交換や共有が行っていました。講演後も施設で抱えている問題について個別に助言を頂いた参加者もあり、働きやすい職場環境の改善に役立つ講演会となったのではないのでしょうか。

社会経済福祉委員長 御船 智佳子



講演会の様子



社会経済福祉委員会メンバー



支部長からのあいさつ



支部長 NTT東日本病院
本川 奈穂美

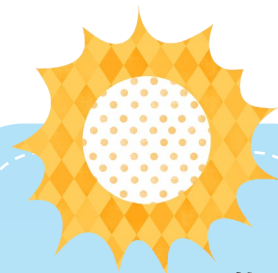
朝夕冷え込む季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、支部活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

平成25年度から公益社団法人に移行し、本部と支部が一体となり事業を進めております。第2支部の支部ニュースは昨年度で発行を終了し、平成26年からは、協会ニュースに支部コーナーができ、協会ホームページ内に支部ページをいただき、研修のご案内や支

部の活動報告ができるようになりました。この度ホームページ掲載の準備ができ、今後は定期的に更新しながら皆様に旬の情報を発信して参りたいと考えております。なお、ホームページ開設が遅れこの時期になりましたこととお詫びいたします。

さて、医療を取り巻く情勢は大きく変化し、高齢化社会の到来に伴い、国が医療提供体制の抜本的な見直しを推進する中、医療・介護の連携や看護職の役割発揮が期待されています。今年度の講演会・懇談会では『特定行為に係る看護師の研修制度』や『在宅ケア促進にむけた看護の連携』等、医療・看護情勢に即したテーマでの情報発信と、看護職の役割発揮に伴う負担増を勘案し、看護職のストレスマネジメントに関するテーマで研修を進めてきました。いずれも多くの皆様に興味を持って参加いただき、盛況に終了しました。今年度の事業は、残すところ看護研究発表会と医療安全交流会2回目、年明けの支部大会・交流会となっております。一人でも多くの会員の皆様にご参加いただき、学びや交流の場にしたいと考えておりますので、参加・協力の程よろしくお願い致します。

平成26年度支部会員数は、7月末現在4229人となっております。今年度の目標会員数が4182人ですので目標達成率101.12%となっております。これも一重に会員の皆様のご協力のお陰と心より感謝申し上げます。組織力強化のため、今後も多くの看護職の皆様に入会していただけるよう魅力ある支部運営に努めてまいります。皆様のご協力とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



北海道看護協会

さつぽろ第2支部

トピックス

- 支部長からのあいさつ
- 委員会活動報告
 - *保健師職能研修会
 - *看護師職能研修会
 - *助産師職能講演会・交流会
 - *教育委員会
- 第2支部研修・支部大会のご案内





交流会の様子



保健師職能委員会メンバー

🌸 保健師職能研修会・交流会

7月19日（土）に、亀田医療大学看護部の宮本真巳教授をお招きし、『異和感って何？～日頃のしっくりいかないことについて振り返ってみよう～』の講演会を行ないました。コミュニケーションを取る時に自分が言ったことに対し相手がどう思うかを考えながら話すこと、相手と会話のずれを感じた時には感情を表現すると良いということを学ぶことができました。参加者からも感情の言葉を伝えるとことを実施していきたいという感想がきかれました。保健師職能研修会の後、亀田医療大学看護学部の宮本真巳教授にも、参加していただき、交流会を行ないました。参加者は、行政、訪問看護ステーション、病院など様々でした。宮本教授にアドバイスをいただきながら対象者との関わりについて考えることができました。

保健師職能委員

🌸 看護師職能研修会



9月6日（土）看護師職能研修会には定員を超える135名の参加がありました。日本ケア・カウンセリング協会 品川博二先生から『レジリエンス（折れない心）を知っていますか？ケアカウンセリング入門』と題して講義をいただきました。笑いに包まれながら、折れない心を保つために、私たちがどうしたらよいのかを考える機会となりました。

看護師職能委員



看護師職能委員メンバーです。病院領域5名、介護・福祉関連施設・在宅領域2名の7名で活動しています。

ネットワークづくりを強化していきたいと考えています。



助産師職能講演会・交流会

今年度の助産師職能講演会および交流会は、札幌第1支部～第4支部までの4支部が合同で開催しました。

医療法人社団スズキ記念病院 看護部長 八木橋香津代先生が講演された、震災の実体験には胸を打たれるものがあり、忘れてはいけない震災への思いと、今後の災害対策の重要性を改めて学ぶことができました。

今年度の参加者は、全道の産科施設から募集したこともあり、交流会では普段の身近な施設間の情報交換だけではなく、様々な地域の状況や助産師としての情報共有の機会となり、学びの多い1日となりました。

助産師職能委員



交流会の様子



助産師職能委員会メンバー

教育委員 ステップアップ看護研究

教育委員会ではステップアップ看護研究、師長補佐研修、看護研究発表会と、年間3回の研修会を毎月の委員会で企画、検討、運営をしています。各研修ともに応募者が多く『ステップアップ看護研究』も12施設27名が参加し、講師よりご指導いただきました。師長補佐研修はもう一度参加したいという意見もあり、企画する側として嬉しく達成感もあります。看護研究発表会も先生の丁寧な好評内容が評判です。教育委員として参加される方々が「参加してよかった」「他の研修にも参加したい」と感じていただき、より多くの方々に参加していただけるように教育委員で協力し、取り組んでいきたいと思っています。

教育委員



ステップアップ看護研究



教育委員会メンバー 会議の様子





第2支部研修・支部大会のご案内

○第10回 看護研究発表会 プログラム

平成26年11月15日（土）13:00～16:30

T K P 札幌ビジネスセンター赤れんが前 5階 はまなす

第1群 講評：札幌医科大学保健医療学部看護学科 教授 浅利 剛史 先生

1. 生物学的製剤自己注射施行患者の継続指導の検討
～自己注射手技チェックシートの結果から～ 北海道リウマチ科病院 丸谷 ユカリ 他
2. 手術室の環境向上に向けて ～扉開閉におけるスタッフの意識改善～
北海道医療センター 平岡 梨奈 他
3. 座位獲得へのアプローチにより日常生活行動の再構築ができた看護事例
札幌同交会病院 伊勢谷 暁子 他
4. 病棟看護師による退院支援と退院マネジメントにおける現状と役割
札幌第一病院 田中 絹子 他

第2群 講評：札幌医科大学保健医療学部看護学科 講師 荻田 珠江 先生

5. リーダー経験1～2年目の看護師がリーダー業務を行う際に抱える不安に関する研究
札幌医科大学附属病院 金子 知世 他
6. 分子標的薬による手足症候群が患者のQOLに与える影響
N T T 東日本札幌病院 阿部 真紀 他
7. エンゼルケアに参加した家族の思い ～家族へのインタビューを通して～
勤医協札幌西区病院 田村 サチエ 他
8. アルコール依存症者の入院中からの復帰支援・通勤支援
札幌太田病院 八重樫 真生 他

○札幌第2支部 支部大会・交流会

平成27年2月21日（土）13:00～ ホテルオークラ札幌

今年度の支部大会は、例年の支部事業報告に加え、札幌円山動物園 広報担当者の方をお招きし、『動物園の新しい役割』をテーマに講演をしていただく予定になっております。円山動物園は円山地区を含む、札幌第2支部エリアでもあります。

動物園は医療施設とは異業種ではありますが、命に携わる場としては、共通する点が沢山あります。誕生・成長・病気・老い・死・・・生命のバトンが繰り広げられる動物園ならではのエピソードを交え、お話をさせていただきます。

